

市議会だより

おおだ

No.52

2018 (平成30)年7月19日発行

こばと保育園 新園舎完成おめでとう

新園舎完成を喜び年長児

みんなさるるってハイチーズ♪

6月定例会 6月8日～22日

- 島根県西部地震被災者支援に重点配分…2
- 地震被害に対する支援、防災体制等11人が市政を問う…6
- 新民生委員会紹介…12

6月定例議会は一般会計、特別会計の平成30年度補正予算のほか、条例の一部改正、一般案件について、慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

戻せるように～ 支援に重点配分

(総額 241億1,624万円)

雪嶺の家付近解体予定建物

①雪嶺の家
②倉庫
③倉庫
④物置
⑤車庫
⑥車庫
⑦焼却炉

第一駐車場 第二駐車場 第三駐車場

■解体建物

大田市観光施設改修事業
未利用老朽施設を解体し、東の原エリアの
景観確保及び跡地利用を図る
5,000万円

コミュニティ助成事業
(宝くじ助成事業)
消防団員の安全装備品
救命胴衣125着
100万円

6月8日

- ・大田市東部を震源とする地震による被害状況等株式会社ゆのつ

5月15日

- ・大田市東部を震源とする地震による被害状況、支援策等

4月19日

- ・大田市東部を震源とする地震による被害状況等
- ・新可燃ごみ共同処理施設建設予定地変更の検討
- ・東の原の景観保全及び活用に伴う周辺施設の解体
- ・平成29年度(第30回)三瓶山西の原火入れの事故

全員協議会
の議題

議案の審査または
議会の運営に関し
協議・調整を
おこないます

6月定例市議会

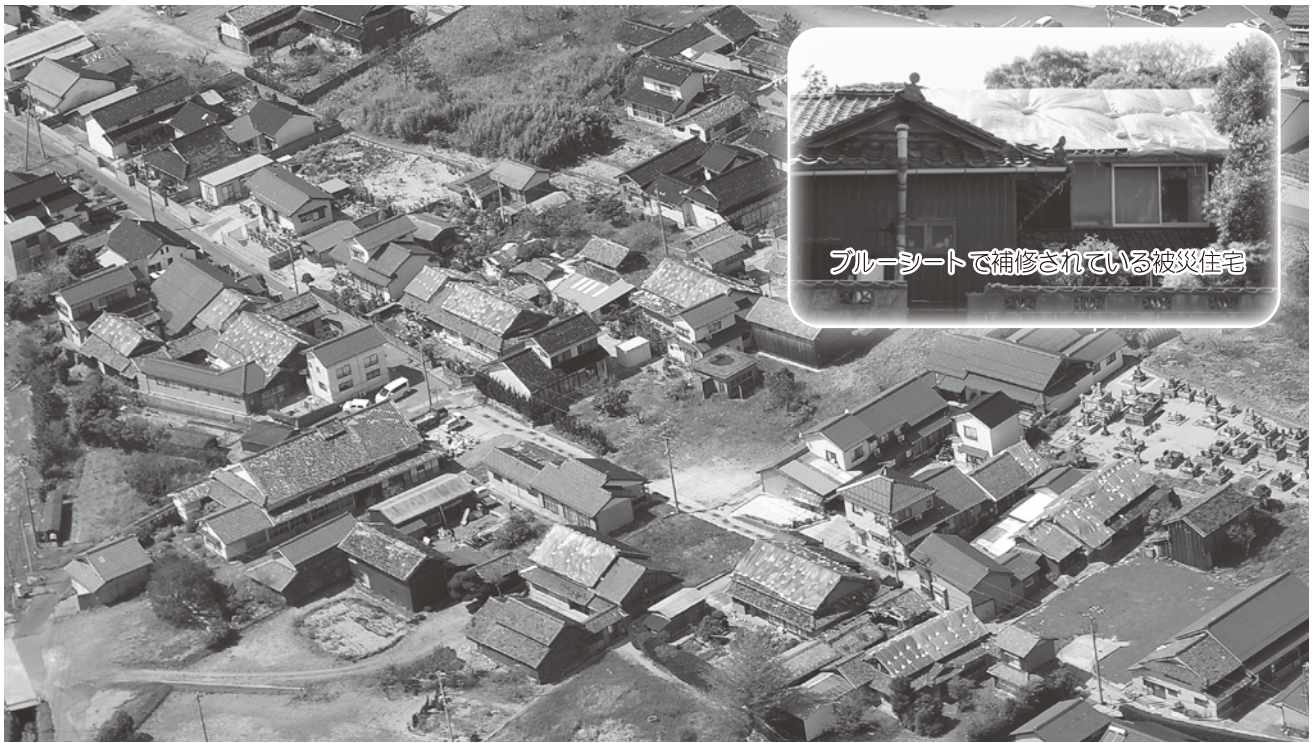
平成30年6月8日(金)～
6月22日(金)

～全ての市民が一日も早く安心な暮らしを取り

島根県西部地震被災者

平成30年度一般会計補正予算 2億724万円

主な補正内容



島根県西部地震被災者生活再建支援金支給事業 1億7,468万円



新大田市立病院 杭打設工事(H30.4月)

- 6月15日
- ・第2次大田市総合計画の策定状況
 - ・新可燃ごみ共同処理施設
- 6月22日
- ・平成31年度大田市重点要望
 - ・大田市立地適正化計画の策定状況
 - ・その他
- 大田市立病院の運営状況(報告)

◇6月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	林茂樹	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	河村賢治	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	清水勝	石橋秀利	
■市長提出議案																									
議案第9号 専決処分（大田市税条例の一部を改正する条例制定）の承認について	原案承認	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 専決処分（大田市都市計画税条例の一部を改正する条例制定）の承認について	原案承認	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 平成30年度大田市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 平成30年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 大田市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 大田市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 大田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 土地改良事業計画について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 財産の取得について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 特別委員会の設置について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																									
意第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数20名、うち議長（石橋秀利）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、態度保留等々）

委員

○委員長
○副委員長

森山明弘
 松村信之
 清水勝
 大村幸司
 石田洋治
 三谷健
 根宜和之
 亀谷優子

▼行財政改革特別委員会の設置
 （目的）大田市行財政改革に関する調査検討、意見具申

大田市議会は国に対し、2019年度予算の編成にあたっては、社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を適確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ることを求めた。

▼地方財政の充実・強化を求める意見書
【原案可決・全会一致】

議員提出議案

近畿大田市人会開催される



石橋議長
祝辞

6月23日(土)アートホテル大阪ベイタワー(大阪市)において、関西にお住まいの大田市出身者が集う、近畿大田市人会「集いの会」が開催されました。近畿地方も地震で被災されたばかりですが、田中会長以下、約200名の皆様が参加され、盛大な催しとなりました。

ふるさと大田市からは、市長、島根県議会議員、市議会議員、副議長をはじめ、商工会議所、観光協会など各種団体の代表の方も参加し華を添えました。また、胡摩田市議会議員も参加しました。



「近畿大田市人会」集いの会

▶大屋神楽による大迫力の大蛇

総会では、平成29年度事業報告、会計報告及び平成30年度事業計画が議題とされ、全て承認されました。

大田市からは大田市東部を震源とする地震の状況について報告をしました。



▲ふるさとを大合唱する会場のみなさん

アトラクションでは、大屋神楽が、日本武尊、恵比寿、大蛇の3演目を披露し、会場にお集まりの皆さんは大拍手で楽しんでおられました。その他、大田市の物産展も開催され、懐かしい地元産品を買い求める皆さんで賑わいました。最後は、参加者全員で「故郷」を合唱し、来年も元気で再会することを約束し、万歳三唱で会を閉じました。

石見銀山遺跡世界遺産登録11周年記念日給食

7月2日(月)石見銀山遺跡世界遺産登録記念日給食に、石橋議長は大田西中学校を、総務教育委員会の委員6名は久屋小学校を訪問しました。

地元食材、石見銀山ゆかりの食材を使用した学校給食で、世界遺産登録記念日を祝い、石見銀山遺跡や「食」に関する学習の機会とすることを目的とされています。市内各幼稚園、小学校、中学校等で提供されました。

当日は全学年の授業参観をしたあと、各学年の教室で児童と一緒に輪になって味わいました。



▶総務教育委員会は久屋小学校へ(授業参観風景)



▲輪になって給食を味わう委員と子どもたち



てんぷらまんじゅう

大田の厚焼き玉子
さっぱりだれかけ

仲良し
えごまみそ和え

モー旨みたっぷり！
大田の和牛de散らし寿司

幸せいっぱい
お祝い紅白団子のすまし汁

/世界遺産登録11周年記念特別献立/

いっぱん質問



市政に対する一般質問は、6月13日、14日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲「おかわりちょうだい！」久手っ子七タそうめん流し(久手まちづくりセンターにて)

答弁 広報あおだ、市のホームページへの掲載、建築士会での啓発活動を行ってきた。平成28年からは、ぎんぎんテレビの活用や市の防災訓練におけるブース展示、耐

質問 多くの建築物が被害を受けた。大田市では、大田市建築物耐震改修促進計画を策定しているが、今回の地震の被害状況から改めて木造住宅の耐震改修を進めていく必要がある。今後の市民への補助要綱の周知方について、また、今回の地震により建物を解体した場合、固定資産税を一定期間緩和すべきと考えるが、所見を伺う。

耐震改修の 補助要綱の 周知徹底を

より一層啓発活動を行っていく

石田 洋治 議員



震化チラシの全戸配布を行ってきた。今回の震災により、市民の防災意識が高まっている。耐震化の重要性、あるいは補助制度について、より一層啓発活動を行っていく。

地震や火災などの災害で、住宅を解体した場合、2年間の被災住宅用地特例措置の適用となる。6分の1または3分の1の軽減を受けることができる。ただし、その際には申告が必要となり、家屋を解体する場合には、家屋解体届にあわせ、被災住宅用地特例申告書並びに罹災証明書が必要となる。



▲地震災害総合相談窓口の様子

大田市の防災体制の 課題と今後を問う

災害協定は非常に有効であり、
今後も徹底していく

根宜 和之 議員



たと実感している。ただし、食料や外国人対応には課題が残っていると考える。

今回の災害時には、消防団震災時活動マニュアルに基づき、全分団長に対し管轄区域内の被害状況調査を依頼した。総勢235名の消防団員が出動し、市内全域の状況把握と初動活動を速やかに実施することができた。今後は、対応マニュアルの徹底とともに、団員の待遇改善や装備や災害ごとの資機材の整備、さらに教育訓練も強化していきたい。

質問

大田市地域防災計画に基づき、市は様々な取り組みを行ってきた。その一つが他自治体や民間組織、企業と締結した災害協定である。今回の地震で実行された協定内容の中で、有効だった点や課題があれば伺う。また、今回は自動参集とならなかった消防団の当日の活動状況と課題、今後の充実強化について伺う。

答弁

現在大田市では、災害協定を19の県内外の自治体及び民間事業者等と締結している。今回特に、公的機関から700名の職員派遣やブルーシート等の物資の提供を受け、現協定は非常に有効であつ



県内外の自治体の応援を受けながらの地震被害認定調査の様子

公文書のあり方を問う

極めて重要であり、
適正な形で進めていく

清水 勝 議員



また市民の皆様への説明責任を果たす上でも、極めて重要と認識している。

森友学園に関する「決算文書の改ざん」や、加計学園をめぐる「首相案件」等の疑惑文書が発覚している。国の公文書管理法では、「公文書は健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」とあるが所感を伺う。森友・加計問題を教訓とし、当市の行政文書管理規程(訓令)の補強策として条例化を求め、①専門的部署の設置と教育・訓練制度の導入②保存期間と移管文書のあり方③毎年度の子エックと報告体制の充実を伺う。

質問

森友学園に関する「決算文書の改ざん」や、加計学園をめぐる「首相案件」等の疑惑文書が発覚している。国の公文書管理法では、「公文書は健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」とあるが所感を伺う。森友・加計問題を教訓とし、当市の行政文書管理規程(訓令)の補強策として条例化を求め、①専門的部署の設置と教育・訓練制度の導入②保存期間と移管文書のあり方③毎年度の子エックと報告体制の充実を伺う。

答弁

公文書管理は、適切かつ正確な事務を執行する上でも、

当市は、大田市行政文書管理規程(訓令)に基づき、適正な管理に努めている。条例化は現状では整理すべき課題が多くある。①については、文書管理を平成13年度からシステム管理化しているが、今年度中には、更に改良する予定である。職員研修は改めて実施し、より適切な文書管理の徹底に努める。②については、基本的には5年、簡易なものは3年または1年、重要なものは10年、最も重要な文書は永年としている。③については、管理体制の強化は当然必要であり、今後改めて検討をし、適正な形で進めていく。



学校再編の現状と 今後の計画について問う

スピード感を持って進める

河村 賢治 議員



校の保護者と「今の学校、10年後の学校」と題して意見交換を行った。
市として、これまでの学校再編の検証を踏まえ、大田市教育ビジョンに掲げる理念、「わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く」を基にし、コ

質問

新大田市が発足した直後、学校再編の方針が出され、温泉津町の小学校の統合や野城分校、大代小学校、富山小学校、池田中学校、温泉津・仁摩中学校の統合が進んだ。

しかし、その他の再編計画はどうなったのか。現在の状況と、これからの計画について伺う。

答弁

実施計画期間が平成28年度で終了した。平成29年2月に再編統合を実施した学校5校の保護者を対象に、統合後の学校の様子、児童生徒の状況、地域とのかわりなどについて意見交換を行った。また、平成29年度はすべての小・中学

ミュニティー
スクー
ル等につ
いてもス
ピード感
を持って
進める。



▲学校再編によりスクールバスで学校へ通学する児童

大田市の地域医療を 守る施策は

ハード・ソフト両面の課題はあるが、できることから早々に実行していく

小林 太 議員



療、訪問看護を行う診療所や訪問看護ステーションを支援するなど、地域医療を守るための努力をしてきた。

また、今年度からは、将来にわたって地域医療を安定的に維持するための仕組みや方策、今後のあり方について検討することとし、4月以降、具体的な検討作業に着手している。これまでに患者動向の把握を初め、それぞれが抱える課題や医療に對する思いなど、地域実態の把握に努めている。

質問

医師の高齢化が進む中、一次医療、かかりつけ医を確保することの重要性は増してきている。対策を検討し、公的な施策を講じる時期がきたのではないかと考える。
大田市と総合医療センターを有している市立病院は、大田市医師会とも連携を進める中で、診療所設置と医師派遣によって大田市の地域医療を守ることについての考えを問う。

答弁

市立病院の診療体制の一層の充実に取り組む一方で、大田市医師会の協力を得て休日診療の運営や、中山間地域などへの訪問診

併せて、医師や看護師などの人材確保、医療機関相互の役割分担、運営等に必要なる財源の確保など、ハード・ソフト両面の課題もあるが、できることから早々に実行していく。



▲現在の大田市立病院

ヘルスケアをメイン・コンセプトとした観光振興事業を提案する

ヘルスツーリズム関係団体と連携を図り、観光誘客の促進などに対し支援したい

和田 浩司 議員



恵まれ、この取り組みに適した観光資源を数多く有している。現在、市内のヘルスツーリズム関係団体が連携し、市内4地区において、宿泊につながる商品開発と既存の体験プログラムの磨き上げが行われているところである。また、健康経営という新たな考え方が定着してきており、こうした取り組みを推進する企業との連携も始まっている。大田市としても、引き続きヘルスツーリズム関係団体と連携を図り、商品の販路拡大、観光誘客の促進などに対し、支援したいと考えている。

質問 収縮する地方財政において、観光振興事業は、継続可能な収益を生み出す大きな事業である。世界遺産登録後の集客力が低迷する中、環境資源を豊富に持ち、既に中四国地方で唯一日本クアオルト協議会に加盟している大田市において、ヘルスケアをメイン・コンセプトとした観光振興事業を提案するが、所見を伺う。

答弁 ヘルスツーリズムは、観光に健康の要素を取り入れた新しい旅行形態として、近年、省庁の枠を超えた取り組みがなされている。大田市は世界遺産、国立公園、海、山といった豊かな自然や温泉資源にも

▶ヘルスツーリズムの様子



国民健康保険料引き下げのために、国費投入と市単独の繰入れを

国費による補助があり、法定外繰入れを行うことは難しい

亀谷 優子 議員



質問 市民のくらしが豊かにならない中で、負担能力をはるかに超える国保料が全国でも大きな問題になっている。国保制度は、加入者の年齢構成が高いことや所得水準が低いことから保険料の負担がどうしても重くなってしまう。高すぎる保険料を引き下げ、高すぎる国費の投入と市独自の法定外繰入れを行うべきと考えますが、所見を伺う。

答弁 当市の国保の現状として医療費水準が増加傾向にある中、加入者数や所得水準の減少により一人当たりの保険料は増加傾向にある。保険料負担の急激な増加を

抑制するため、国保事業基金を活用し負担軽減に向け努力している。法定外繰入れと国費投入による保険料の引き下げについては、国保に対する財政支援として、保険給付に係る一定割合のほか、低所得者世帯の保険料軽減に対し国費による補助が講じられている。さらに、平成30年度から保険者努力支援制度などの公費支出もある。このように公費による支援がなされている中、法定外繰り入れを行うことは困難である。しかし、財政的に非常に厳しい状況は変わらず、さらなる公的支援の拡大を市長会等を通じ、国に対していく。



大田市災害ボランティアセンターの開設・運営の課題をどのように認識しているか

設置する場所、施設や必要な資機材の確保、備蓄品等の見直しが必要である

森山 明弘 議員



ルーシートや土のう袋などの調達、瓦れき運搬用トラックなど、ボランティア活動に必要な資材を確保し、支援を行った。

質問 4月9日午前1時32分、大田市東部を震源とする震度5強の島根県西部地震が発生し、多くの市民の方が被害を受けられた。

4月12日から、災害ボランティアセンターが開設・運営されたが、当市にとって初めてのことであり、開設・運営にあたっての課題について、どのように認識しているかを伺う。

答弁 災害ボランティアセンターの開設・運営にあたっては、設置者の社会福祉協議会と協議を行い、センター開設を報道機関、広報誌等により市民周知を図った。また、ブ

課題として、①今回より大きな災害が発生した場合のボランティアの確保②ボランティアセンターを設置する場所、施設の確保について平常時から決めておく③平常時より活動に必要な資機材の確保、備蓄品等の見直しも必要と考える。

今回、ボランティアセンターだけでなく、さまざまな課題が見つかった。一定の期間を置き総括する中で地域防災計画も含め見直しを検討したい。



▶屋根瓦を補修するためのブルーシート用土嚢づくり

島根県西部地震後の非住家の早急な対応を

できるだけ早期に再調査の実施をしたいと考えている

三谷 健 議員



家等実態調査の再調査を実施し、比較検討して震災における実態把握が必要だと考えている。できるだけ早期に再調査の実施をしたいと考えている。

質問 この度の地震において、被災した非住家の扱いに際しては、現状、棚上げのまま放置されていると思われる。倒壊が憂慮される非住家はどのくらい存在するのか、また、その程度は。近隣住宅、住民への二次災害も予見されるため、不良度調査を実施し、所有者に通告、対策を講じるべきであると考えているが、市としてどう対応されるか伺う。

答弁 現在、市に報告された被害届けや罹災証明及び被災証明では、被災した全ての非住家の実態を把握するまでには至っていない。このため平成28年度に実施した空き

空き家の倒壊危険度判定については、空き家等実態再調査の中で、外観目視による不良度判定を行っていく。併せて、所有者に対し、所有する建物の実態把握と適正管理に努めていただくよう、広報やホームページなどでの周知を行う。また、固定資産税に



▲地震によるがけ崩れで被災した倉庫

島根原発の再稼働について、完全な安全性の確保を求める

市長会を通じ、
国に要望していく

大西 修 議員



質問 中国電力は、島根原発2号機の再稼働と3号機の適合性審査申請の事前了解願いを県と松江市に提出した。県に完全な安全性を確保するための原発に係る学者・研究者などの「検討委員会」(仮称)を設置し、市民が納得できるように求めてほしい。

また中国電力に、実効性のある避難計画ができるまで新規制基準適合性審査を保留するように求めてほしい。

答弁 原子力発電所の稼働問題については、エネルギー供給体制における責任を持つ国家的な課

題である。よって、国の責任において判断されるべきものと考えている。なお、2号機の再稼働及び3号機の新規稼働については、国が直接、市民及び自治体に説明することも、原発事故のリスクを見込み、立地自治体の意見が最大限尊重されることはもちろん、UPZ(緊急防護措置を準備する区域)を含む周辺自治体の意見も十分に反映できる新たな法制度を構築することを、島根県市長会を通じて国に対し要望しているところである。

また、避難計画の実効性については、島根県、松江市の広域避難計画の策定、見直しの際には、当市に協議が行われることになっていく。実効性ある計画となるよう、協議を続けていただきたいと思います。



▶ 島根原子力発電所

所有者不明の土地の対応を問う

所有者や境界の明確化は
重要であり、県、森林組合等と
連携していく

松村 信之 議員



質問

「林地」「農地」「空き家」などで「所有者不明の土地」と思われるものや、境界線が不明なものがあると思う。地籍調査の進捗状況ならびに固定資産税の通知書を送付し、送付先不明で戻ってきたものはどのくらいあるのか伺う。「林地」については、「森林境界の不明確さが進んでいる」と森林整備計画で示されているが、今後交付される「森林環境譲与税」「森林環境税」を使い、所有者の解明、また境界線の確定をどのようにされるのか伺う。

答弁 今年度、地籍調査は久手地区、温泉津町福田地区を実施

しており、進捗率は大田市全体の36%。固定資産税の納税通知は毎年度約2万件弱で、そのうち送付先不明などで最終的に通知が届かないものは20件程度、約0.1%であった。間伐や主伐などの森林整備を進め循環型林業を確立していく上では、森林の所有者や境界の明確化は重要であると認識しているが、多くの経費と労力が必要である。

このような中、森林環境税及び森林環境譲与税の創設が決定した。これにより市町村が仲介役となって、森林の整備や林業技術者の育成など、林業の抱える課題に沿った事業の実施に加え、森林の公的管理が可能となる。引き続き、県、森林組合等と連携していきたい。



▶ 荒廃した森林

新民生委員会紹介

第2回目は民生委員会です。民生委員会は、健康福祉部、環境生活部、病院事業等を担当しています。それでは、「大田市のここに注目！夢☆私が考える任期4年後のおおだ」と題し、4年後の任期を一区切りとし、夢あふれる大田市の未来像を語っていただきます。

議会傍聴のご案内

次の定例会は

9月の予定です。
市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。



月森 和弘 委員



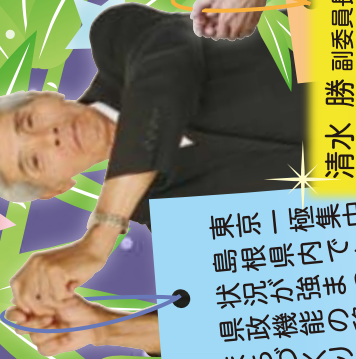
小川 和也 委員

子どもたちに確かな未来を築くことを信条に、「夢・広がるまちづくり」を推進し、「安心して暮らせるまち」を目指し暮ら顔をみたい。



石田 洋治 委員長

“未来の宝”大田市の子どもたち。障がいの有無にかかわらず一緒に学ぶ教育の実現。高齢者、障がい者に日本一やさしい大田市！



清水 勝 副委員長

東京一極集中の是正が言われている。島根県内でも東高西低の政治、経済状況が強まっている。県央地の大田に県政機能の移転策が実現し、「共創のまちづくり」に拍車がかかっている。



林 茂樹 委員

小さな町でも、頑張れば様々なことに挑戦できるまちづくりを目指し、大田市が他の中山間地域のモデルとなっている。



亀谷 優子 委員

議員活動は初めてのことで、少しづつ勉強して皆さんの役に立ちたい。一人ひとりが大切にされ、社会保障が充実した大田市にしたい！

7月28日(土)

多くの皆様のご参加を
お待ちしております！

「開かれた議会づくりを推進！」
『市民の皆様と自由に意見交換をするため』
議会報告会を開催します

場所	時間
久利まちづくりセンター	13:30～15:00
志学まちづくりセンター	13:30～15:00
大代まちづくりセンター	13:30～15:00
鳥井まちづくりセンター	14:00～15:30
朝山まちづくりセンター	19:00～20:30
井田まちづくりセンター	19:00～20:30
大國まちづくりセンター	19:00～20:30

会場の指定はありませんので、どの会場にでもお出かけください。

編集後記

島根県西部地震の復興最中、関西においても震度6弱の地震が発生しました。被災されました皆様方には、衷心よりお見舞い申し上げます。

今の日本は、多岐面において、どれだけ揺さぶれば良いんだらうと、いつくらい、日本事態が揺さぶられている昨今です。一日でも早い、復旧、復興は当然のこと、まことな日本になるよう、多くの皆様に尽力いただきたく願います。

さて、大田市議会では7月28日に議会報告会を行います。市民の皆さんとの会話の中から、議会活動として、大田市のためになる事柄を探っていくというものです。是非とも近くの会場にお出かけいただき、色々な考えをお聞かせいただければ光栄です。(木村 幸司)

広報広聴委員会

- 委員長 林 茂樹
- 副委員長 木村 幸司
- 委員 松村 信之
- 委員 小川 和也
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 三谷 健
- 委員 和田 浩司
- 委員 根宜 和之
- 委員 亀谷 優子